

ヤンバルトサカヤスデが発生中

まん延防止にご協力ください

ヤンバルトサカヤスデとは？

台湾原産の外来生物で、県内では、奄美地域や南薩地域などを中心に生息していますが、本町でも発生している地域があります。

農産物や人に害を及ぼすことはありませんが、繁殖力が強く、膨大な数で集団移動したり、家屋の中に侵入したりするので、強い不快感を与えます。



↑群れて移動するヤンバルトサカヤスデ

| ◆在来種のヤスデ | ◆ヤンバルトサカヤスデ |
|---|---|
|  |  |
| 0 1 2 3 [cm] | 0 1 2 3 4 [cm] |
| 体長：2 cm以下 | 体長：2.5 cm～3 cm |
| 色：黒褐色 | 色：黄褐色、茶褐色 |

- ヤンバルトサカヤスデの生態**
- ・卵、幼体、亜成体、成体と発育し、寿命は約1年半です。
 - ・集団移動時期は、8月から12月ごろまでで、この時期はまん延防止の対策が必要です。
 - ・湿度の高い雨上がりの夜に特に、集団移動する傾向があります。
- まん延防止策**
- ヤスデのまん延は、生息地域から土や肥料などとともに、卵や成体が人為的に運ばれることが最も大きな原因とされています。
- ・生息地域から園芸樹木などの持ち出しは、極力避けましょう。
 - ・やむを得ず持ち出す場合は、株元や根回りの土壌にじょうろなどを用いて薬剤を十分に注ぎましょう。
 - ・宅配便で根付き植物を贈る場合も、薬剤処理をしましょう。
 - ・生息地域から土砂などを搬出する場合は、搬出現場で薬剤処理や薫蒸処理をしましょう。

家屋への防除方法

ヤスデは、餌となる落葉などのあるところや、日当たりの悪い湿気のある場所を好みます。ヤスデの生息しにくい環境づくりを地域で一体となって取り組むことが重要です。

- ・土手の草払いや下草刈りを徹底して日当たりをよくし、暗く湿った場所をつくらないようにしましょう。
- ・ヤスデは薬剤に弱く、表面がつるつるした所は進めません。
- ・家屋の周りに薬剤を散布したり、ステンレス板を貼ることで、ヤスデの侵入を防止できます。



↑ヤスデ防除のために地域一体で環境整備

駆除方法

1月から8月の幼体が多い時期に田畑の掘り起こしや下草払いをすると、ヤスデの駆除に効果的です。

- ・薬剤散布は、ヤスデが地表で活動する7月から12月までに行うと効果的です。

※ヤスデは外界から刺激を受けると、シアン化合物を含むガスを発生します。ヤスデを焼いたり、熱湯をかけたたりしないでください。

◎問い合わせ先

役場介護環境課環境衛生係
☎(86) 1153「直通」



↑ステンレス板を使ったヤスデ返し